



エネルギーをみんなにそしてクリーンに



気候変動に具体的な対策を

こまエコ新聞

令和3年 6月3日

こまエコ新聞編集局

号外

狛江市、ゼロカーボンシティへ

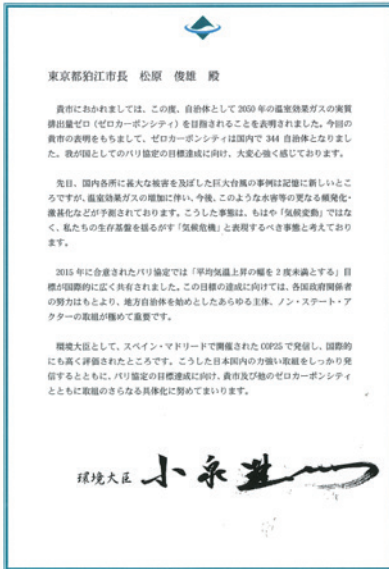
2050年までに

CO2排出量実質ゼロ

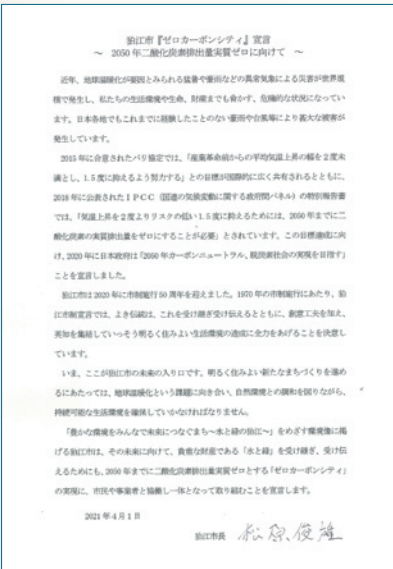
脱炭素社会へ前進

狛江市は、二酸化炭素(CO2)排出量実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を2050年までに目指すと表明・宣言した。(表明3月26日・宣言4月1日)
地球温暖化が要因とみられる気候変動が世界規模で顕著となり、日本でも豪雨や猛暑等による被害が深刻化している。国際的枠組であるパリ協定の採択やSD

今回の表明・宣言は、これらの情勢を受け、市民の安心安全な暮らしを守り、貴重な自然資源を次世代に受け継ぐために行ったもの。
G5の台頭、昨年には日本政府が2050年カーボンニュートラル脱炭素社会の実現を目指すことを宣言するなど、世界的に脱炭素に向けた動きが加速している。



表明に対する小泉環境大臣からのメッセージ



狛江市「ゼロカーボンシティ」宣言文

狛江市役所に100%再エネ電力

4月1日から

この宣言に合わせ、狛江市では、市役所本庁舎で使用する電力を100%再生可能エネルギー(再エネ)電力に切り替えた。
これにより、市役所の二酸化炭素排出量を大幅に削減できる見込み。市全体の排出量削減への責任を果たすとともに、市の率先行動を示し、機運を高める狙いだ。

「ゼロカーボンシティ」とは、2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを指す。自治体として公表された地方自治体のことを指す。ここでいう「二酸化炭素」とは、二酸化炭素などの温室効果ガス全般を指し、「実質ゼロ」とは、人為的な発生源による排出量と森林等の吸収源による除去量の間の均衡を達成することをいう。
今回の表明は、全国の自治体(広域自治体・基礎自治体含む)で344番目の表明となる。
ゼロカーボンシティの実現には、市・市民・事業者が協働し、一体的に取り組むことが不可欠だ。

Advertisement for 'こまエコまつり' (Koma Eco Festival) with text '今年中止! 来年こそは!' and an illustration of a character.

コラム1 なぜ大事なのか

地球温暖化は人間活動による二酸化炭素の増加が大きな要因とされています。では、なぜ二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化を防ぐ必要があるのでしょうか。
温室効果ガスの排出削減対策が今後ほとんど進まず、地球温暖化が最も進行した場合、20世紀末から21世紀末にかけて、東京都の気候は、
・滝のように降る雨の発生が2倍以上
・年平均気温が約4℃上昇
になることが予測されています。
このような気候変動が到来した場合、人間の生命、財産が危険にさらされ、また、地球上の多くの生物にとって著しい悪影響が生じることとなります。
地球温暖化を抑制する脱炭素の推進は、地球と次世代を守る私たちの責務なのです。
※東京都の21世紀末の気候(東京管区気象台)より

Infographic showing impacts of climate change: 熱中症など健康被害の増加, 自然災害の激甚化, 生物多様性の減少. Includes images of a person with a fever, a storm, and a panda.

コラム2 私たちができることは

Infographic showing energy usage and CO2 emissions. Includes charts for '狛江市の部門別二酸化炭素排出量' (Industry 4%, Waste 5%, Transport 13%, Business 22%, Home 56%), 'エネルギー使用量' (Energy saving and recycling), and '家庭部門のエネルギー源最終エネルギー消費量' (City Gas 22%, Oil 26%, Electricity 51%).